

令和4年度

全体的な計画

砥部町立麻生保育所

保育理念	児童福祉施設として、一人一人の子どもの最善の利益を考慮しながら、養護と教育を行いその心身の発達を図る。
保育方針	家庭的な雰囲気の中で、一人一人を受け入れ大切に見守ることにより、情緒の安定を図り、円滑な成長、発達を促せるように願って日々保育する。

保育目標 (目指す子ども像)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつのできる子 ・明るく元気な子 ・やさしく情緒豊かな子 ・自分のことが自分でできる子
-------------------	---

保護者の思い	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことは自分でしてほしい ・友達と仲良くしてほしい ・怪我や病気をせず元気でいてほしい ・善悪の分かる子になってほしい ・感性豊かに育ててほしい
--------	---

地域の実態	保育所の実態	園児の実態	家庭の実態
<ul style="list-style-type: none"> ・山や田畑・川等に囲まれ、自然を身近に感じることができる場所に位置している。 ・少し離れた場所に、町立の幼稚園や小学校があり、双方を行き来しての交流がある。 	令和4年度 園児177名 (園児) 0歳児3名 ・ 1歳児27名・ 2歳児30名 ・ 3歳児40名 4歳児40名 ・ 5歳児37名 (職員) 所長 ・ 副所長 ・ 保育士19名・ 調理員4名 ・ 早朝パート4名 保育支援員 加配保育士3名 延長パート3名 指定休代替保育士9名 ・ 用務員1	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の様々な地域から通ってきている。 ・明るく人懐こいが、自分の思いを通すために強引な言動になる姿もある。 ・未満児が比較的多く、居残りや土曜保育を多く利用している 	<ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭や母子家庭が多い。 ・送迎などは、祖父母の協力を得られている家庭も多い。 ・会社員、パート、自営など。

食育計画	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを身につけておいしく食べる。 ・食に興味・関心をもつ。 ・栽培活動を通して、育てたり、収穫したりする喜びを味わう。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との緊密な連携の下に、保護者の気持ちを受けとめながら子どもの成長とともに喜ぶ。(個人懇談、送迎時の対応、園だより、クラス通信、プリント、連絡ノート等を活用する。)
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、嘱託医、近隣の専門機関等と必要に応じて連携を図る。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の発達機関との連携を図り、支援機関の職員が巡回相談等で園を訪問する機会を設ける。 ・個別の指導計画を作成するうえで、所内で個々の状態やそれに応じた指導内容や手立てを話し合い連携を図る。
人権・同和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体的な生活や心にひびく体験を通して、基本的な生活習慣を身に付け、温かい人間関係をつくることのできる子どもを育成する。
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の子どもの体調把握と室内・玩具などの消毒・衛生管理を行い、感染症対策に努める。

令和4年度 0・1 歳児保育課程

月齢		3ヶ月～6ヶ月未満	6ヶ月～9ヶ月未満	9ヶ月～12ヶ月未満	1歳～1歳半未満	1歳半～1歳12ヶ月未満
発達の目安		<ul style="list-style-type: none"> 首が据わり、手足の動きが活発になる。 寝返り、腹這いなどの全身の動きが活発になる。 表情の変化、体の動き、喃語等により、自分の欲求を表現する。 応答的に関わる特定の大人との情緒的な絆が形成される。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムが安定する。 乳歯が生え始める。 お座りが安定する。 「ンマンマ」「ナンナン」等、二音の反復的音声を発する。 人見知りが始まる。 後追いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ずり這い、四つ這い等で移動する。 つかまり立ち、伝い歩きをする。 身振りの模倣、指さしをする。 意味のある言葉が出る。 人の表情から場面の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が始まる。 簡単な言葉の指示を理解する。 自我が芽生えてくる。 探索活動が盛んになる。 指さされたものを見ようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小走りや後ずさりをする。 押す、つまむ、めくるができる。 否定の言葉をよく使う。 物に名前があることがわかり、知りたがる。 欲求を強く主張しながら、大人の反応を観察する。 友達とは並行遊びである。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 生理的欲求を満ち、安定して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健的で安全な環境の中で、特定の保育士とふれあい、心地よく過ごす。 離乳食が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 共感的なコミュニケーションをとってもらい、発語の意欲をもつ。 離乳食を喜んで食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行が安定し、安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。 安心できる保育士との関係の下で自分でもしてみようという気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 甘えたい気持ちもうけとめてもらいながら、身の回りのことをしたい気持ちを十分に認めてもらい、満足感を味わう。 様々な生活や遊びを通して、自由な活動を十分にいき、周りの人や物に興味や関心をもつ。
養護	生命の保持 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生活リズムを大切に、健康状態に留意する。 子どもの様々な欲求に適切にこえる。 特定の保育士と触れ合い心地よく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発達に応じた生活リズムを形成する。 特定の保育士との応答的な関わりを十分に楽しみ、情緒の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の心身の発育、発達状況を的確に把握し、適切な対応をする。 保育士との信頼関係も深まり、安心感を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故やけががないように見守りながら、自分でやりたい気持ちを引出し、十分に受け止めていく。 興味や気持ちに寄り添いながら、欲求の充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に留意し、子どもを見守りながら、やりたい気持ちを満たす。 生活、遊びの安定を図りながら自分でしようとする気持ちを尊重する。
内容		<ul style="list-style-type: none"> 生理的な欲求や甘えを受け止められ、安心して過ごす。 話しかけられると喜び、喃語を発する。 語りかけや喃語への応答により、保育士との関わりが心地よくなる。 あおむけ、腹這いで喜んで遊ぶ。 安心できる環境の中で、聞く、見る、触る等の感覚の働きが豊かになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食が進み、様々な味、食品に慣れるようになる。 親しい人との応答的な関わりを十分に楽しむ。 腹這い、寝返り、お座り、はいはい等の運動を十分に楽しむ。 大人とのやりとりを喜び、喃語でこえる。 人見知り、甘え等、いろいろな感情が出る。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で、喜んで食事をし、自分から食べようとする。 喃語や片言を受け止められ、発語し、保育士とのやりとりを楽しむ。 お座り、つかまり立ち、伝い歩き、立つ、歩く等の運動を十分に楽しむ。 保育士の動作を真似たり、体を揺すったりする。 自分からいろいろな物に関わり、周りの物に興味や関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> コップで飲んだり、スプーンを使ったりして食べようとする。 保育士の話しかけによって少しずつ言葉の意味を理解する。 指さしや仕草で、気持ちを表現する。 絵本や音楽が好きになり、同じ本や曲を何回も見たり聞いたりする。 簡単な道具の使い方が分かって遊ぶ。 立つ、歩く等の全身を使った遊びを十分に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> スプーンやフォーク等を使って意欲的に食べる。 言葉のやりとりを保育士と楽しみ、少しずつ言葉の意味を理解する。 衣服の着脱に興味をもちやってみようとする。 保育士との信頼関係の中で、自分の気持ちを安心して表現する。 保育士の話しかけを喜んだり、指さし、身振り、片言で話したりする。 ひとり遊びをじっくり楽しみながら、保育士の仲立ちの下、友達と関わって遊ぼうとする。
保育士の援助		<ul style="list-style-type: none"> 特定の保育士が関わり、安心して生活できるようにする。 一人ひとりの生活リズムを大切に 語りかけたり泣き声や喃語にこえたりして、保育士との関わりが心地よいものにする。 睡眠中も目を離さず、呼吸の有無や寝る姿勢の確認を行う。 スキンシップを大切に、心地よく体を動かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食は一人ひとりの状態に合わせて、無理なく進めていく。 喃語等に込められた思いや要求にこえ、やりとりの楽しさを知らせる。 自分から玩具に向かって行こうとする意欲的な行動が満たされるように、環境を整える。 保育士と触れ合いながら体を動かす遊びの楽しさを味わえるような機会を多く作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 手でつまめる食材を工夫し、食べる意欲を大切にする。 喃語や片言には優しくこえ、言葉のやりとりが楽しめるようにする。 身の回りの安全を十分に確認したうえで、探索意欲を満ちして自由に遊べるようにする。 運動を存分に楽しめるようにするとともに、十分な休息がとれるよう配慮する。 いろいろな物を見たり触れたりする機会をもち感性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> スプーンやコップへの関心を高め、自分で食べる意欲を引き出していく。 指さしなどの要求に丁寧に対応し、十分に自分の思いを出せるようにする。 自我の芽生えを大切に、一方で不安や甘えたい気持ちを受け止め、安心して自分を出せるようにする。 安全面に十分配慮して探索活動を一緒に楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分で」という気持ちを大切に、ゆったりとした気持ちで対応する。また、できた時には褒め、意欲を育てる。 友達の存在に気付き、関わりが多くなったことを大切にしながら、保育士が思いを受け止めたり代弁したりして援助する。 イヤイヤの時期を受け止めつつ、「どっちにする？」等働きかけ、自ら選んで行動に移せるようにする。

令和4年度 2歳児保育課程

期		I		II			III		IV		V		
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
遊びの楽しさ		<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に戸惑い、不安を感じ、泣いてしまうこともあるが、少しずつ慣れて安心して遊ぶことが出来るようになる。 戸外で保育士と一緒に好きな遊びをして楽しんでいる。 友達の名前を呼んだり、同じおもちゃで遊ぼうとしたりする。 好きなおもちゃや遊具を見つけ、繰り返し遊んで楽しむ。 保育士と一緒に歌や手遊びをすることを喜ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりが少しずつ増えるが、自己主張も強くなり、思いを通そうとしてぶつかることもある。 プール遊びや砂、泥に触れて遊ぶことを喜ぶが、抵抗がある子どももいる。 友達や保育士との簡単な言葉のやり取りを楽しむようになる。 生活の流れが少しずつわかり、身の周りの簡単なことを自分でしようとする。 			<ul style="list-style-type: none"> 身の周りのことを自分でしたり、簡単なことは自分で出来るようになる。 友達との関わりが増えてきたことで、トラブルも見られるようになるが、保育士の仲立ちによって自分の気持ちも伝えられるようになる。 運動会や練習に喜んで参加し、体を動かすことの楽しさを感じる。 どんぐりや松ぼっくり、落ち葉など、秋の自然に興味をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> うがいや手洗い、衣服を畳むなどの身の回りのことを丁寧にしようとする。 友達と一緒に歌う事や凧遊びを楽しみ、遊びの中にも取り入れようとする。 絵を描いたり、製作をしたりすることを楽しむ。 クレヨン、ペンなど様々な道具を使う経験をする。 絵本や紙芝居などを静かに見ることが出来る。 寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しみ、追いかけっこなどの簡単なルールを守って遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 園生活の仕方が分かり、保育士に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする。 いろいろな行事に関心をもって喜んで参加し、進級する喜びを感じている。 思ったことや感じたことを言葉で伝えようとする。 冬から春に向けての自然の変化に興味をもつ。 		
		ぬいご		<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ、保育士や友達と関わりながら安心して過ごす。 簡単な身の周りのことを保育士に見守られながら一緒にしようとする。 不安や欲求を受け止めてもらい、安心して過ごせるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> 園庭での固定遊具の使い方を知る。 保育士や友達と一緒に、水、砂、泥などの感触を味わい、夏の遊びを十分に楽しむ。 夏の生活の仕方を知り、元気に過ごす。 身の周りの簡単なことを保育士と一緒にする。 			<ul style="list-style-type: none"> 音楽やリズムに合わせて体を動かす楽しさを知る。 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 秋の自然に親しみをもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に、体や言葉で表現することの楽しさを味わう。 寒さに負けず、友達と戸外で元気に遊ぶ。 身の回りのことを丁寧に言い健康に過ごす。 		<ul style="list-style-type: none"> 進級することに期待をもち、身の周りのことを自分でしようとする。 簡単な約束やルールを守って遊んだり生活したりする。
養護	生命の保持 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 保育士が十分にスキンシップをとり、子どもとの信頼関係を築いていく。 食事や排泄、午睡など安定して出来るように一人ひとりに応じた対応をしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 水分補給や汗の始末などをこまめに行えるように配慮する。 夏ならではの遊びを十分に楽しみ、心も体も開放して遊ぶ心地よさが味わえるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> いろいろな身の回りのことを、自分からできるようにする。 残暑を元気に乗り切るために、活動と休息のバランスに配慮する。 		<ul style="list-style-type: none"> 手洗い・うがいの大切さを知らせ、習慣づけていく。 みんなの前で自分なりの表現が出来るように自信をもたせていくようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの思いをあたたく受け入れ、一人ひとりの成長を認めるようにする。 一人ひとりの、体調の変化にも気を配る。 		
	健康 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 戸外で体を動かして遊ぶ心地良さを知る。 保育士と一緒に遊ぶ中で友達に関心を持ち、名前を呼んだり、同じ玩具を使って遊ぼうとしたりする。 保育士と一緒に楽しく遊び、親しみをもつ。 戸外で虫を見つけたり、草花を見たり触れたりして楽しむ。 保育士や友達と、朝や帰りの挨拶を元気にする。 絵本や紙芝居の読んでもらうことを喜ぶ。 ピアノに合わせて体を動かしたり、歌を歌ったりして音楽に親しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 汗を拭いてもらったり、着替えをしたりして気持ちよく過ごす。 簡単な言葉や見振りを使って、自分の気持ちを相手に伝えようとする。 水や泥に親しみながら、開始的な夏の遊びを楽しむ。 夏野菜に関心を持ち、生長の様子を見て喜ぶ。 友達や保育士と一緒にごっこ遊びなどを楽しむ中で、言葉のやり取りを楽しむ。 プール遊びを楽しむ中で、順番や約束を守って遊ぼうとする。 いろいろな素材を触れて、絵を描いたり作ったりする楽しさを味わう。 			<ul style="list-style-type: none"> 遊具や用具を使って、思い切り体を動かすことの気持ちよさを感じる。 ルールや約束を守って遊ぶことの大切さを感じる。 友達とのトラブルを経験する中で、相手の気持ちに少しずつ気付く。 秋の自然物に関心を持ち、園庭や散歩などで見つけ、遊びに使おうとする。 散歩などでけがれや親しみをもったり、交通ルールを知って守ったりする。 楽しかったことや家庭での出来事を、自分なりの言葉で話す面白さを味わう。 保育士や友達と一緒に、音楽やリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 寒くても戸外で遊ぶ楽しさを感じられるように遊びを工夫し元気に過ごすことが出来るようにする。 発表会の練習を通して、友達と一緒にいろいろな表現遊びを楽しむ。 いろいろな生活の場面で、友達や保育士との会話を楽しむ。 寒くなったことを感じ、冬の訪れを知る。 凧遊びなどを通して自分の好きな役になって友達との言葉のやり取りを楽しむ。 いろいろな楽器を鳴らすことを楽しんだり、友達と一緒に歌ったり踊ったりする喜びを味わう。 いろいろな素材や材料に興味をもち、自分なりに作ったり作った物で遊んだりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 脱いだ衣服をたたんだり、タオルをたたんで片付けたり、身の周りのことを丁寧にしようとする。 気の合う友達を遊びに誘ったり、仲間に入れてもらったりしながら楽しく関わって遊ぶ。 年上の友達のしていることに興味をもちたり、進級に期待をもって、意欲的に生活したりする。 遊びや生活の中で、その場面に応じた決まりやルールが分かり、守ろうとする。 いろいろな行事に参加し、大きくなることを喜ぶ。 物語に親しみを持ち、好きな話を聞いて楽しむ。 冬から春に向けての自然の変化に気付く。 		
環境 保健 安全 生活		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが安心して生活できるように、不安な気持ちを受け止め、保育士との信頼関係を築いていく。 一人ひとりが安心した生活が送れるように、生活する場所や遊び場、遊具などの環境を整えておく。 生活習慣では、一人ひとりの状態を把握し、個々に応じた対応や援助が出来るようにする。 遊びの中で友達存在に気付けるような言葉かけや、保育士が仲立ちとなってかかわりがもてるように配慮する。 草花や虫に触れて遊ぶ中で、子どもたちの気づきや感動を大切に、保育士も共感する。 保育士がモデルとなって気持ちのよい挨拶をし、子どもたちも元気に挨拶ができる雰囲気をつくる。 絵本や歌に触れる機会をたくさん作り、親しんだり楽しんだり出来るようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 夏を心地よく健康に過ごすために、子どもの健康状態を把握したり、水分補給や休息を取ったりなどこまめに援助していく。また、援助しながら健康に過ごすためには大切であることを伝えていくようにする。 子どもの意欲を大切にしながら、身の周りのことで必要な部分をさりげなく援助し、自分で出来たという満足感をもたせていく。 汚れを気にせず夏の遊びを楽しめるよう、保護者に十分に着替えを用意してもらうようにする。 一緒に夏野菜の様子を見たり、給食に夏野菜ができた時に声をかけたりしながら、関心をもてるようにする。 ごっこ遊びなどを通して、場面に応じて必要な言葉を伝えたり保育士や友達と一緒に使ってみたりして、やり取りが楽しめるようにする。 トラブルが起きた時には保育士が仲立ちとなり、お互いの気持ちを伝えていく大切な機会とする。 プール遊びは安全面に十分に留意すると共に、子どもたちも、約束や順番を守ることが大切であることを繰り返し伝えるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 遊具や用具の安全な使い方を繰り返し伝えていく。 約束やルールを守って遊ばないと楽しくなかったり、危険であったりすることを繰り返し伝えていき、遊びの中で実際に感じられるようにする。 友達とのトラブルを相手の気持ちに気付くよい機会と捉え、お互いの思いを代弁するなど、適切なかかわりかたを工夫していく。 園外に散歩に行く機会をつくり、園内だけでなく、地域の自然にも触れられるようにする。 子どもの言葉に丁寧に耳を傾け、自分なりの言葉で相手に伝えることの楽しさが味わえるようにゆったりとした雰囲気や時間をもつようにする。 子どもと一緒に音楽やリズムに合わせて体を動かす、その楽しさに共感する。 		<ul style="list-style-type: none"> 感染症の怖さについて紙芝居や絵本などを通して、わかりやすく伝え、手洗いやうがいの大切さを知らせていく。 寒さに負けず戸外で楽しく遊ぶことが出来るような遊びを提供したり工夫したりする。また、気温によって防寒着を着用したり、遊ぶ時間を調節したりする。 いろいろな生活の場面でゆったりと会話を楽しむ時間を大切にしていく。 冬の自然の変化に気づけるように声をかけたり、機会を逃さず自然に触れられる機会をつくったりする。 普段の遊びの中で、ごっこ遊びを楽しみ無理なく発表会につなげていくようにする。 子どものイメージしたものが実現出来るように、いろいろな素材や材料、用具を準備したり、時間や場の保障をしたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を見直し、個人差を考慮しながら自立への意欲や自信を持たせる。 上手く仲間入りしにくい子に寄り添い、保育士も一緒に仲間入りし、数人で遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 年上の友達のしていることや、言葉づかい、表現の仕方などに注目できるように働きかけ、以上児への憧れや進級への期待がもてるようにする。 ルールや決まりが守れていないときにはその都度話をし、その場に必要なルールなどを知らせる。 子どもたちだけで遊びを進めている姿を大切に、必要に応じて保育士も遊びにかかわったり、必要な言葉を伝えたりするなど場に応じた援助をする。 		

令和4年度 3歳児保育課程

期		Ⅰ		Ⅱ			Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
予想される子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活で進級を喜ぶ反面、緊張や不安を抱き、泣く子、保護者と離れにくい子、不安な表情の子がいる。 保育所生活にしだいに慣れ、自分から好きな玩具で遊んだり、身の回りのことを少しずつしようとしたりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 情緒が安定するにつれて、新しい活動にも自分から取り組み、遊びの場を広げている。 友達と触れ合いながら一緒に生活するなかで、周りの友達に目を向けるようになる半面、思いが伝わらずぶつかり合うことが増える。 			<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶことを喜び、好きな遊びを繰り返し楽しむ。 保育士の言葉による指示を聞いて行動したり、友達と一緒に思い切り体を動かすことを楽しんだりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりが少しずつ深まり、気の合う友達と誘いあって遊ぶ姿が見られる。 身の回りのことを自分で行うが、個人差は大きい。 自分の思いやイメージを言葉、動き、造形遊びなどで自由に表現しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身につく、自分の事を自分でしようとする。 気の合う友達と遊んだり、話したりすること喜び、一緒に活動しようとしている。 進級することを喜び、期待を持って生活している。 		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 遊具や玩具に興味を持ち、自分から遊ぼうとする。 保育所生活の流れを知り、生活リズムに慣れる。 喜んで登所し、保育士に親しみをもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> 保育所での生活の仕方がわかり、簡単な身の回りの始末を自分でしようとする。 自分の好きな遊びを十分に楽しみながら、友達のしていることにも興味を持つ。 			<ul style="list-style-type: none"> 保育士や友達に自分の思いを言葉で伝えることを喜び、経験したことを話したり、友達との会話を楽しんだりする。 友達と一緒に好きな遊びを楽しむ中で、体を動かして遊ぶことを喜ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達と一緒に、同じ遊びを楽しむ。 経験したこと、感じたことなど自分なりに工夫しながらイメージを広げて表現する楽しさを味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身につく、自信を持ってのびのびと行動する。 大きくなる喜びと進級に対する期待を持って生活する。 冬の自然現象に興味を持ち、見たり触れたりして親しむ。 		
養護	生命の保持 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身につけられるように援助する。 不安な気持ちを受け止め、信頼関係の中で安心して過ごせるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨期や夏の衛生面に気をつけ、健康に過ごせるようにする。 個々の欲求を受け止めながらも相手の思いも知らせ、周りの友達と関われるように仲立ちをしていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 様々な動作や運動を十分に経験して、運動機能が高まるようにする 一人ひとりが生活の中で自ら進んで行動できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化や子どもの体調に気をつけながら、健康に過ごせるようにする。 日々の生活や遊びの中に安心感を持ち、のびのびと友達に関われるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> いろいろな運動機能の発達を促しながら、活発に活動できるようにする。 生活の中で様々な経験をすることで満足感を味わえるようにする。 		
教育	健康 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 保育所での基本的な生活の仕方を知り、保育士に手伝ってもらいながらも自分でしようとする。 保育士や友達に親しみを持つ。 自他の物の区別を知り、共同の物との区別にも気付く。 したいこと、してほしいことを保育士に言葉や身振りで伝えようとする。 絵本や紙芝居などに興味を持ち、見たり聞いたりする。 みんなと一緒に、知っている歌を歌ったり手遊びをしたり、体を動かして遊んだりする。 		<ul style="list-style-type: none"> みんなと一緒に食事をすることを楽しむ。 手洗いやうがいの大切さを知り、進んでしようとする。 自分の周りの友達の存在に気付き関わりを持とうとする。 自分の思いを友達に伝えようとする。 水や泥、砂などに触れて遊ぶ心地よさを味わう。 水遊びのルールを知り、守りながら思い切り遊びを楽しむ。 身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて、遊ぶ楽しさを味わう。 			<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがい、着脱、排せつなどの手順や意味を理解し、自分からしようとする。 保育士の指示を理解して行動しようとする。 みんなと一緒に活動することを喜ぶ。 秋の自然に十分に触れて、遊ぶ。 遊びの中でやりとりを楽しみながら、生活に必要な言葉を知る。 かけっこや踊りなどを喜んだり、いろいろな遊具を使った遊びなどをしたりしてのびのびと体を動かして遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 衣服などの着脱を順序良くしたり、気候や活動に合わせて調節しようとしたりする。 気の合う友達と同じ遊びを楽しんだり、一緒に過ごしたりすることを喜ぶ。 身近な物の、色や形、多い少ないなどの違いに気付く。 生活に必要な言葉を選んで使う。 自分なりのイメージを持って、描いたり作ったりすることを楽しむ。 音楽に親しみを持ち、歌ったり楽器を鳴らしたりして楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 全身を使った遊びを楽しみ、寒くても元気に過ごそうとする。 物や場所の安全な使い方がわかり、自分から気をつけて遊ぼうとする。 自分の思いや考えを保育士や友達に伝える。 雪や氷など冬の自然に触れて遊んだり、春の訪れに関心を持ったりする。 ごっこ遊びを通して言葉のやり取りを楽しんだり、遊びに必要な物を作ったりする。 作ったもので遊んだり、飾ったりして楽しむ。 		
環境構成・保育士の援助		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりを温かく受け入れ、安心して過ごせるようにする。 身の回りの始末など、個々の状態を把握し、時間に余裕を持って一人ひとりに応じた対応をする。 戸外の遊具や砂場を安全に整備し、保育士と一緒に遊みながら使い方や安全に遊ぶ方法などを伝えていく。 好きな遊びが見つけれられるように、保育士と一緒に遊みながら、興味が持てる声かけや誘いかけをする。 		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの始末や片づけなど、自分でしようとする気持ちを大切に、その姿を認め、自信が持てるようにする。 トラブルでは、互いの気持ちを受け止めたり、代弁したりして仲立ちをしていく。 気温に応じて水遊びや、プール遊びができるように、場や遊具などを整えて使えるようにしておく。 			<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、自分なりに頑張っている姿を認めたり、励ましたりして自信を持たせ、自分でしようという気持ちを持てるようにする。 保育士も一緒に遊びながら、走ったり、跳んだりして思い切り体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにする。 草花、木の実、小動物、など秋の季節が感じられる自然物を集めたり、捕まえたり、使ったりして遊べる場づくりをする。 		<ul style="list-style-type: none"> 色々な遊びを自分から積極的にやってみようとする気持ちを認め、意欲を高めながら満足感が味わえるようにする。 玩具の取り合いなどのトラブルでは一人ひとりの気持ちを受け止め、相手の思いにも気付けるようにする。 イメージが広がって、見たてやごっこ遊びが楽しめるよう、必要な物を一緒に作ったり、用意したりする。 一人ひとりが自分なりに表現している姿を受け止め、表現する楽しさが味わえるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの成長した姿を褒めたり認めたりして大きくなった喜びや進級への期待が持てるようにする。 身近な自然現象に興味や関心を持つことができるよう、時期を逃さず見たり触れたりできるようにする。 みんなで遊ぶ楽しさが味わえるよう、ルールのある遊びを取り入れ保育士も一緒に楽しむ。 友達関係を広げていくことができるように、いろいろな遊びの場を提供したり、トラブルの際には仲立ちをしたりしていく。 		

令和4年度 4歳児保育課程

期		Ⅰ		Ⅱ			Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ねんご		<ul style="list-style-type: none"> 進級したことへの喜びを感じる一方、新しい生活に不安を感じ、緊張したり、うまく遊びを見つけられなかったりする子どもがいる。 身の回りの始末や片付けの仕方がわかり、保育士と一緒に喜んで遊ぶ。 自分の好きな遊びを見つけ、じっくり楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの始末や片付けは、できることに喜びを感じて進んでしているが、ペースや実態には個人差がある。 ほとんどの子どもが水遊びを喜び、プール遊びに期待を持っているが、中には水を怖がる子どももいる。 友達への関心が深まり、同じ遊びをする友達と関わりを持とうとする。 夏野菜の生長に関心をもつ。 			<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことを喜び、運動会への期待を持って生活する。また、競争意識が芽生えたり、自分の役割を楽しみながら行動したりする。 虫に関心を示し、捕まえたり木の実をたくさん集めたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> テレビや簡単な物語のごっこ遊びをしながら、役になりきって遊ぶことを喜んで遊ぶ。 自然の不思議さや面白さに気づき、数・量・形の変化がわかるが、個人差がある。 いろいろな楽器に興味を持ち、様々な音色や曲に合わせて鳴らすことを楽しんでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達関係が安定し、仲良しグループで共通のイメージを持っていろいろな遊びを楽しんでいる。 年長児になることに、喜びや期待をもって生活している。 正月遊びを友達と一緒に楽しんだり、繰り返し挑戦したりしている。 身近な行事に親しみを持つ。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方がわかり、自分でできることは自分でしようとする。 保育士や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 感染予防の生活の仕方を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> 夏の生活の仕方を身に付け、健康に過ごす。 夏の遊びを十分に楽しみながら、様々な友達との関わりを喜ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> 戸外で元気に体を動かして遊ぶ。 決まりやルールを守り、友達と共通の目的を持って活動することを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒にイメージを共有し、表現する楽しさを味わう。 身近な自然物に触れたり、試したりして遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 年長組になる期待を持ち、自信を持って生活する。 友達との関わりの中で、自分なりの力を発揮しながら、様々な遊びを楽しむ。 		
養護	生命の保持 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの健康状態を把握し、保健衛生に配慮した環境を整える。(毎朝の検温) 一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、情緒の安定を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化に留意し、活動と休息のバランスに配慮する。 一人ひとりの子どもの気持ちを温かく受け止めながら保育士との信頼関係を深めていく。 			<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化に応じて環境を整え、健康に生活できるようにする。 一人ひとりの子どもが安心して自分の気持ちを表現し、主体的に活動できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの思いや気づきを大切に受け止め、一人ひとりが心の安定を保ちながら自分を発揮できるようにする。 友達との関わりを広げ、意欲を持って行動できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 暖房器具の安全に留意し、室温、湿度、換気に配慮する。 一人ひとりの成長を認め、自信を持って意欲的に生活したり、活動したりできるようにする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 生活の流れや仕方がわかり、自分でできることは進んでしようとする。 戸外で思いきり体を動かしたり、身近な遊具や用具で遊んだりする。 楽しい雰囲気の中で、保育士や友達と共に食事をする。 保育士や友達に親しみを持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 春の自然や動植物に興味を持ち、見たり触れたりすることで親しみを持つ。 日常生活に必要な挨拶や返事をする。 自分のしたいことや困っていることを保育士や友達に伝えようとする。 身近な素材に親しみ、描いたり、作ったりすることを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨期の健康な過ごし方、夏の生活の仕方を身に付け、自分でしようとする。 プール遊びや水遊びなどの夏の遊びを通して、全身を使って遊び、開放感を味わう。 水、砂、泥、土などに触れ、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。 身近な動植物に関心を持ち、世話をすることで、命の大切さに気づく。 絵本や童話・図鑑などに親しみを持ち、楽しむ。 歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化に応じた生活の仕方を身につける。 積極的に運動遊びに取り組み、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう。 遊びの中で勝った喜び、負けた悔しさを仲間と共有していく。 自分の思いを伝え、ぶつかり合いながらも友達に思いを伝える。 決まりやルールの大切さに気づき、守ろうとする。 秋の自然の移り変わりに関心を持ったり、自然物を取り入れて遊んだりする。 見たり、聞いたりして、イメージを持って、作ることを楽しむ。 保育士や友達と音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 冬の健康的な生活習慣を身につける。 仲間意識を持って一緒に活動する楽しさを味わう。 自然物を通して、数・量・形などに興味を持ち、集めたり分けたりして遊ぶ。 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして友達との会話を楽しむ。 友達と一緒にいろいろな表現活動を楽しみながら、イメージを広げる。 音楽に合わせて、みんなと一緒に歌ったり踊ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が身につく。意欲的に生活する。 食事のマナーが身につく。落ち着いた雰囲気の中で、みんなと楽しんで食べる。 成長の喜びと進級に向けての期待を持ちながら、自信や意欲を持って行動する。 自分の意見を主張したり、友達の意見を受け入れたりしながら遊びを進める。 身のまわりの人に優しさや思いやりの気持ちを持つ。 冬から春にかけての自然の移り変わりに関心を持ち、変化に気づく。 ことば遊びや伝承遊びを通して、ことばの面白さに気づく。 文字に親しみ、興味を持つ。 発表会やお別れパーティーなどの行事を通して、表現することの楽しさややりがいを味わう。 		
教育	健康 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築き、安心して過ごせるように心がける。 一人ひとりの生活の仕方を見守り、認めたりして基本的な生活習慣が身につくようにする。 用具や遊具の点検を定期的に行い、安全に遊べるようにする。 個人差に応じて食事の量を加減したり、和やかな雰囲気作りを努めたりして、友達との食事が楽しくできるようにする。 子どもが興味を持って遊びたくなるような遊具や用具を準備しておく。 片付けがしやすいようにマークや絵などで表示しておく。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨期や水遊びの衛生管理に十分気をつける。 遊びに応じて衣服の調節や休息をとることに気づけるように促す。 夏ならではの遊びができる環境を準備する。 身近な自然や生き物に触れ合う環境作りをし、保育士も思いを共にしながら、動植物にも命があることに気付けるように関わっていく。 トラブルが起きた時は、お互いの気持ちを聞く中でどのようにしていけばよかったか、子どもが気付けるようにする。 泥遊びやプール遊びの約束を伝え、みんな楽しく安全に遊べるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 気温や活動に応じて、衣服の調節を自分で見守ったり、気づくように声かけしたりする。 運動遊びの中で、自分の力を十分に発揮できる場と必要な遊具・用具を用意する。 決まりやルールをその都度確認し合い、守って遊ぶことの大切さと楽しさについて知らせていく。 自分のやりたいことや表現したいことが実現できるように保育士も一緒にアイデアを出したり、作って遊べるような素材や用具を用意したりしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動をする中で、一人ひとりの頑張りや成長を十分に認め、自信が持てるようにする。また、色々な友達の良いところに目を向けられるようにし、相互の刺激となるようにする。 自然との関わりの中で子どもの発見や驚きに共感し、一緒に喜んだり、みんなに伝えたりして、様々な色や形、大きさにも気づくように働きかける。 表現遊びでは、やってみようという思いが実現できるような援助を心がけ、伸び伸びと表現する楽しさが味わえるようにしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 進級に期待と喜びを持ちながら、生活習慣の見直しをし、自信を持って生活できるようにする。 うがい・手洗いを励行して、感染症の予防をする。 食事のマナーが身につくように、一人ひとりの箸の持ち方、姿勢、配膳の仕方等を見直す。 友達との遊びの中でお互いの思いを伝える雰囲気や気持ちを大切に、相手のことも受け入れられるように援助する。 生活や遊びを通して文字や数字に興味を持てるようにしていく。 製作や遊びを通して昔ながらの文化を知る機会をつくる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築き、安心して過ごせるように心がける。 一人ひとりの生活の仕方を見守り、認めたりして基本的な生活習慣が身につくようにする。 用具や遊具の点検を定期的に行い、安全に遊べるようにする。 個人差に応じて食事の量を加減したり、和やかな雰囲気作りを努めたりして、友達との食事が楽しくできるようにする。 子どもが興味を持って遊びたくなるような遊具や用具を準備しておく。 片付けがしやすいようにマークや絵などで表示しておく。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨期や水遊びの衛生管理に十分気をつける。 遊びに応じて衣服の調節や休息をとることに気づけるように促す。 夏ならではの遊びができる環境を準備する。 身近な自然や生き物に触れ合う環境作りをし、保育士も思いを共にしながら、動植物にも命があることに気付けるように関わっていく。 トラブルが起きた時は、お互いの気持ちを聞く中でどのようにしていけばよかったか、子どもが気付けるようにする。 泥遊びやプール遊びの約束を伝え、みんな楽しく安全に遊べるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 気温や活動に応じて、衣服の調節を自分で見守ったり、気づくように声かけしたりする。 運動遊びの中で、自分の力を十分に発揮できる場と必要な遊具・用具を用意する。 決まりやルールをその都度確認し合い、守って遊ぶことの大切さと楽しさについて知らせていく。 自分のやりたいことや表現したいことが実現できるように保育士も一緒にアイデアを出したり、作って遊べるような素材や用具を用意したりしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動をする中で、一人ひとりの頑張りや成長を十分に認め、自信が持てるようにする。また、色々な友達の良いところに目を向けられるようにし、相互の刺激となるようにする。 自然との関わりの中で子どもの発見や驚きに共感し、一緒に喜んだり、みんなに伝えたりして、様々な色や形、大きさにも気づくように働きかける。 表現遊びでは、やってみようという思いが実現できるような援助を心がけ、伸び伸びと表現する楽しさが味わえるようにしていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 進級に期待と喜びを持ちながら、生活習慣の見直しをし、自信を持って生活できるようにする。 うがい・手洗いを励行して、感染症の予防をする。 食事のマナーが身につくように、一人ひとりの箸の持ち方、姿勢、配膳の仕方等を見直す。 友達との遊びの中でお互いの思いを伝える雰囲気や気持ちを大切に、相手のことも受け入れられるように援助する。 生活や遊びを通して文字や数字に興味を持てるようにしていく。 製作や遊びを通して昔ながらの文化を知る機会をつくる。 		

令和4年度 5歳児保育課程

期		I		II			III		IV		V		
月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
予想される子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> 年長児になった喜びや期待から意欲的に生活しようとするが、なかには緊張したり不安を感じたりする子もいる。 基本的な生活習慣は身につけているが、保育士の言葉かけが必要なときもある。 		<ul style="list-style-type: none"> 水遊び・プール遊びなど、水を使った遊びに関心を持って積極的に取り組んでいる。 野菜の収穫を楽しみにしながら世話をしたり調理をして味わったりする。 			<ul style="list-style-type: none"> 様々な運動に意欲的に取り組み、ルールを考えたり、友達と力を合わせて競い合ったりすることを楽しんでいる。また、自分なりに目標を持ってがんばろうとする気持ちが高まる。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達の思いや考えを受け入れ、グループで共通の目的を持って友達と考えたり工夫したりする。 年下の友達との遊びの中で思いやりの気持ちを持ち、優しく関わろうとする。 自然の変化に気付き、遊びや造形を楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 就学への期待が膨らみ、生活や遊びに意欲的に取り組んでいる。 仲間意識が高まり、互いに認め合いながら友達の思いやる姿が見られる。 知識が豊かになり身近な文字や数に関心をもち読んだり書いたりする。 		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 年長になったことを喜び、自覚をもちながら園生活を楽しむ。 生活の手順が分かり自分から進んでしようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 夏ならではの遊びに取り組み、工夫したり試したりして遊ぶ。 互いの思いを出し合い、受け入れながら遊ぶ楽しさを味わう。 暑い夏を健康に過ごす。 			<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びや集団遊びに意欲的に取り組み、友達と力を合わせたり、挑戦したりする。 秋の自然に関心を持ち、遊びに取り入れて遊ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 友達と共通の目標を持ち、自分の力を発揮したり協力したりして遊びを進める。 自分たちで考えたことを遊びの中で取り入れ、表現する楽しさを味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> 就学に期待を持ち、集団生活に必要な決まりを守り、見通しや目標を持って生活する。 友達と認め合ったり協力したりしながら物事を最後までやり遂げる。 		
養護	生命の保持 情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 安全な環境を設定し快適に生活できるようにする。 一人ひとりの気持ちを受け入れて信頼関係を築き、情緒の安定した生活ができるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 休息や水分補給などを充分に行い、健康的に過ごせるようにする。 安心できる環境の中で自分の気持ちを素直に表現できるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 健康、安全などの生活に必要な習慣が身につくようにする。 午睡などの適切な休息をとり、心身の疲れが癒されるようにする。 頑張りや長所を認め、安心して行動できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 気温差に留意しながら必要に応じて衣服の調節をし、薄着で過ごせるようにする。 一人ひとりの思いや葛藤などに気付き、受け入れられているという安心感が持てるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの基本的な生活習慣の自立を認め、自信につなげていく。 一人ひとりが就学への期待を持ち、自信を持って意欲的に過ごせるようにする。 		
教育	健康 人間関係 環境 言葉 表現	<ul style="list-style-type: none"> 年長児になった喜びを味わい、自覚しながら生活や遊びに必要な約束や決まりを話し合い、守る。 正しい手洗いとうがいの方法を知り、身に付けようとする。 自分の思いや気持ちを話したり、身近な人の話を聞き、理解しようとしたりする。 親しみをもちて挨拶をしたり会話を楽しんだりする。 友達と一緒に歌ったり踊ったりすることを楽しむ。 様々な材料や道具を使い、自由に描いたり作ったりして楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 汗の始末・水分補給・休息などを行い、健康に過ごす。 友達と遊ぶ中で、自分の考えを相手に伝え、相手の考えや思いに気づく。 プール遊びの決まりを守りながら、ダイナミックに遊ぶ。 栽培物の生長に関心をもち、収穫を楽しみ、食べる喜びを味わう。 自分の言いたいことを分かるように話すと共に、友達の話にも関心を持ち、聞く。 砂や水遊びなどを通してその特徴や性質に関心を持ち、発見したり調べたりして遊びを楽しむ。 			<ul style="list-style-type: none"> 様々な運動遊びを楽しむ中で、自分なりの目標に向かって努力したり、友達と工夫したりして遊ぶ。 相手の思いが分かり、その思いを受け止めようとする。 数・形・時間・位置に興味を持ち、生活の中に取り入れて遊ぶ。 経験したり感じたり考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する。 様々な曲に合わせて踊ったり、体を動かしたりする。 共通の目的を持ってイメージした物を工夫して作り上げていく楽しさや充実感を味わう。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の健康に関心をもち、病気（感染症）の予防に必要なことを知り進んで行う。 友達と一緒にルールを決め工夫して遊びを進めていく楽しさを味わう。 目標に向かって友達と協力したり工夫したりする。 年下の友達に思いやりをもって接し、中を深める。 日常生活のなかで、標識や文字などに興味や関心を持つ。 自分のイメージを動きや言葉で表現し、友達とやり取りをしながら演じて遊んだりする楽しさを味わう。 クリスマスや年末年始などの行事の意味を知り、関心を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> 寒さに負けず、十分に体を動かして遊ぶ。 生活に必要な習慣や態度を身につけ、自ら進んで生活する。 仲間意識を深め、仲間の一人として自信を持つ。 友達との関係が深まり、相手のよさを知り、受け入れながら生活する。 相手の話す内容を理解し、注意して聞く。 文字や数を使って遊びを広げる。 様々な素材を使い、自由に表現する楽しさを味わう。 		
環境構成・保育士の援助		<ul style="list-style-type: none"> 友達との遊びが広がるように素材や用具などを準備しておく。また遊びを十分に楽しめるように時間や空間を設ける。 自分たちで使ったものが進んで片付けられるよう、分類して表示するなど、整理のしやすい環境の工夫をする。 年長組になった喜びや不安などを充分に受け止め、一人ひとりを温かく受容し、信頼関係を築いていく。 年下の友達の世話や交流を通して、年長組になった自覚と喜びを味わえるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 梅雨期や夏の自然に触れる機会を多くし、子どもの驚きや発見を大切にす。また、観察したり疑問に思ったことを調べたりできる環境を工夫する。 自分たちで考えを出し合って遊ぶ姿を認めて見守り、遊びにつまずいた時はヒントを出すなど、状況に応じた関わりをする。 プール遊びで顔つけや浮く等、意欲的に取り組む姿を大いに誉め励ましていき、一人ひとりに合った目標が持てるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> 心身の負担がないように日中の活動量を考慮し、十分な休息がとれるようにする。 日常生活や遊びの中で数・量・形などに気付くような環境を工夫する。 活動意欲の高まりと共に出る競争心や達成感を認め、自信が持てるようにする。 友達との遊びを通して思い切り体を使って遊ぶことを楽しめるようにする。 いろいろ試し工夫しながら作る姿を認め、楽しさや満足感に共感する。 		<ul style="list-style-type: none"> 身近な秋の自然に触れて自然の中で遊びが満喫できるような場や機会を作る。 子ども同士で遊びを進めていく中で、互いに考えや思いを伝え合うことができるように導いていく。 互いのよさを認め合い、子ども同士のつながりが深まるようにする。 一人ひとりの子どもの創意工夫を認め、表現しようとする意欲を高めることができるよう、環境を整えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> クラス全体で取り組んだり、自分たちで遊びを計画したりできる場を設定し、やり遂げる達成感が味わえるようにする。 生活習慣が身につく、見通しを持って行動ができるようになってきているか再度確認し、一人ひとりに応じた関わりをしていく。 就学への期待と喜びを共有しながら子どもに負担を感じさせないようにする。 卒園までの時間を大切に、友達と楽しみ、自信を持って園生活を楽しめるようにする。 		